

Qanat Universe エージェント

導入の手引き

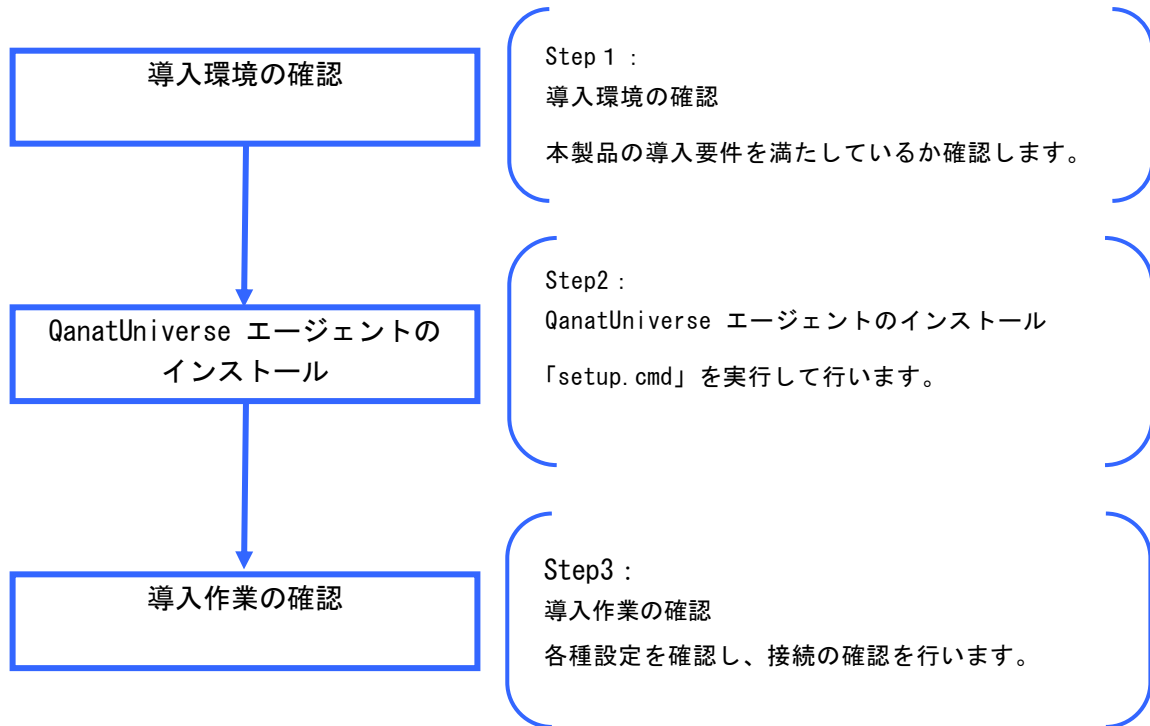
■ 目次

第1章 導入について	1
1.1 導入の手順	1
1.2 導入環境の確認	2
第2章 導入	3
2.1 インストーラーについて	3
2.2 導入作業の実施	3
第3章 設定	8
3.1 エージェントの起動設定の確認	8
3.2 管理ツールの起動確認	9
3.3 エージェントの動作状況の確認	10
第4章 付録	11
4.1 接続に失敗する場合	11
4.2 アンインストールの方法	12

第 1 章 導入について

1.1 導入の手順

導入手順は次のような流れになります。



1.2 導入環境の確認

- ・ 以下の本製品の動作環境を満たしていることを確認してください。
△32 ビット OS では製品の導入を行うことができません。
OS のビット数を含め確認を実施してください。
Windows 10 Pro/Enterprise (x64)
Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard / Datacenter (x64)
Microsoft Windows Server 2016 Standard / Datacenter (x64)
Microsoft Windows Server 2019 Standard / Datacenter (x64)
Microsoft .NET Framework 4.7.2 以降
※ご利用環境に導入されていない場合、事前に導入をお願いします。
- ・ 外部ネットワークに接続する際に、プロキシサーバーを利用している場合、インストール時に指定する必要があります。
事前にプロキシサーバーの IP アドレス、ホスト名を確認してください。
※導入先マシンのシステムで利用しているプロキシサーバーの情報を利用する場合は確認不要です。
- ・ 本マニュアルは 2024 年 6 月以降にリリースされた製品に適用されます。
それ以前にリリースされた Qanat Universe エージェントを既にご導入・ご利用の場合は、一度アンインストールをおこない、本マニュアルに従って最新のプログラムを導入、設定してください。
- ・ 定期アクセス制限を行うセキュリティ製品をご利用いただいている場合、ホワイトリストに「<https://api.qanat-universe.com/>」を追加してください。

第2章 導入

2.1 インストーラーについて

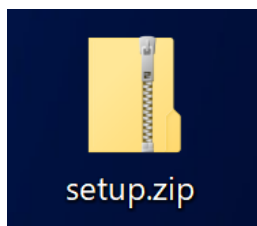
本製品の導入は、本製品と合わせて提供されるインストーラーとよばれるセットアッププログラムによりおこなわれます。

インストーラープログラムは、通常「setup.zip」という圧縮ファイル（場合によって別名の場合があります）で提供されます。

製品を導入したいマシン上に、同インストーラープログラムをコピー/配置してください。

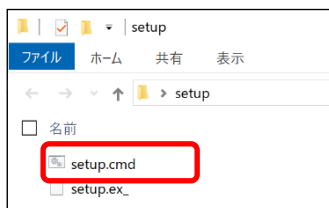
2.2 導入作業の実施

1. 「setup.zip」を解凍します。



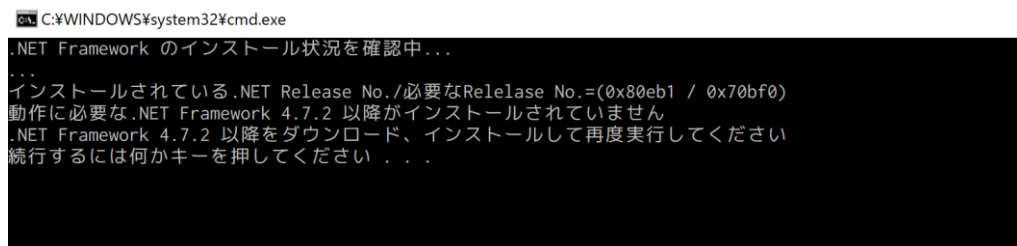
該当ファイルを右クリックし”全て展開”を選択し、解凍します。
解凍すると「setup」というフォルダーが作成されます。

2. 「setup」フォルダーの中にある「setup.cmd」をダブルクリックで実行します。



.NET Framework のインストール状況の確認が開始されます。

問題がなければそのままインストール処理が続行しますが、以下のようなメッセージ:



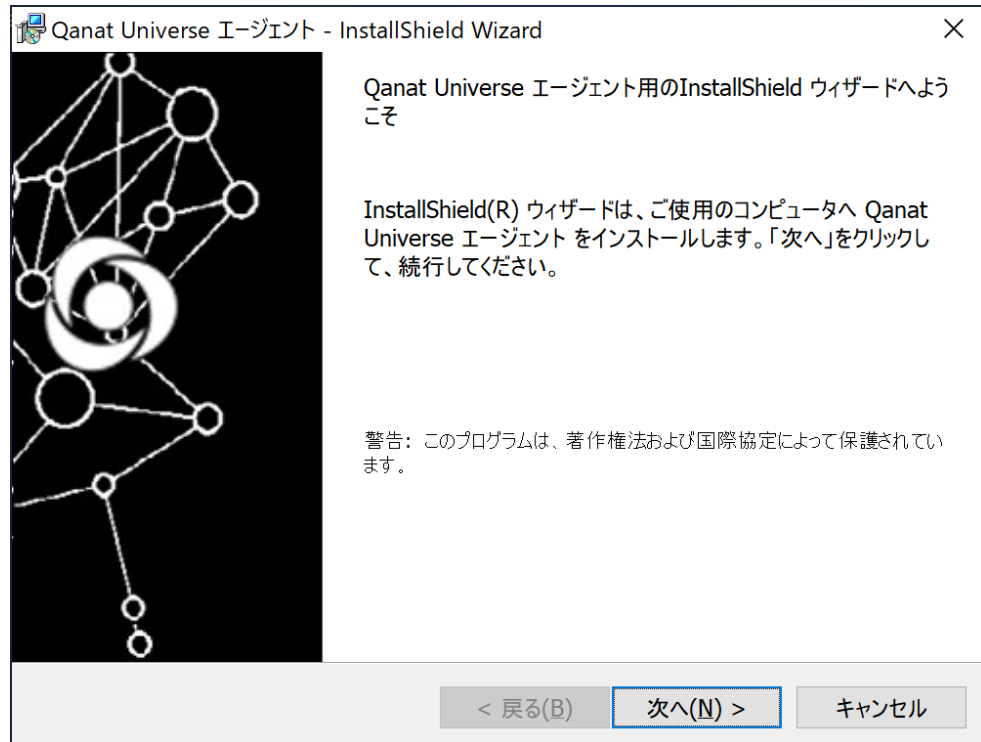
が表示された場合は、一度本インストール作業を中断し、Microsoft 社の Web サイト

より

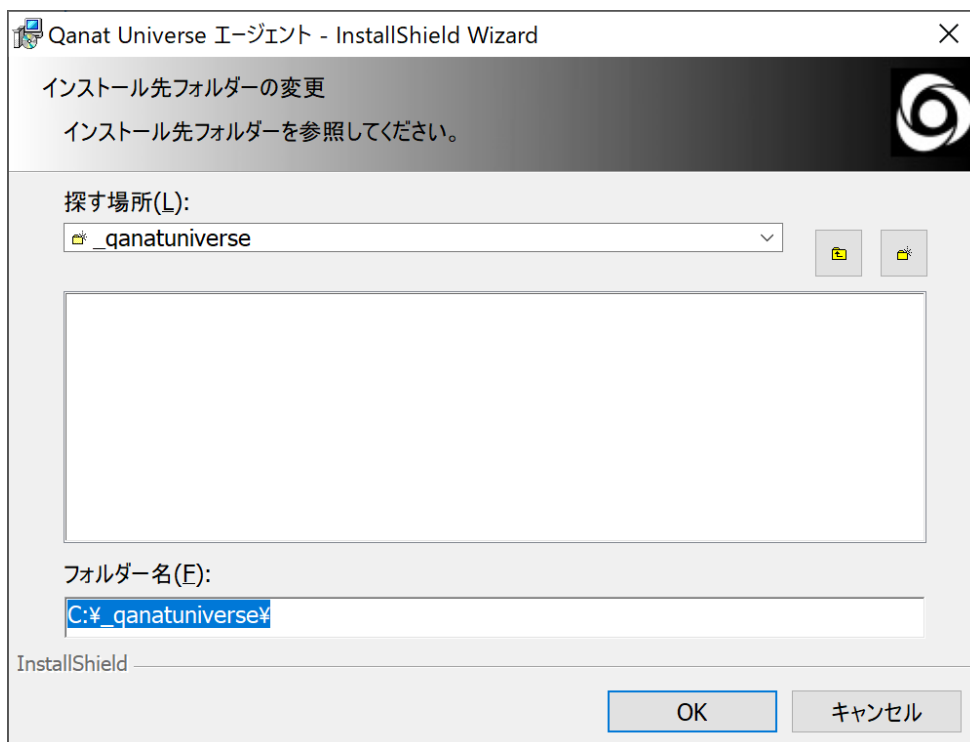
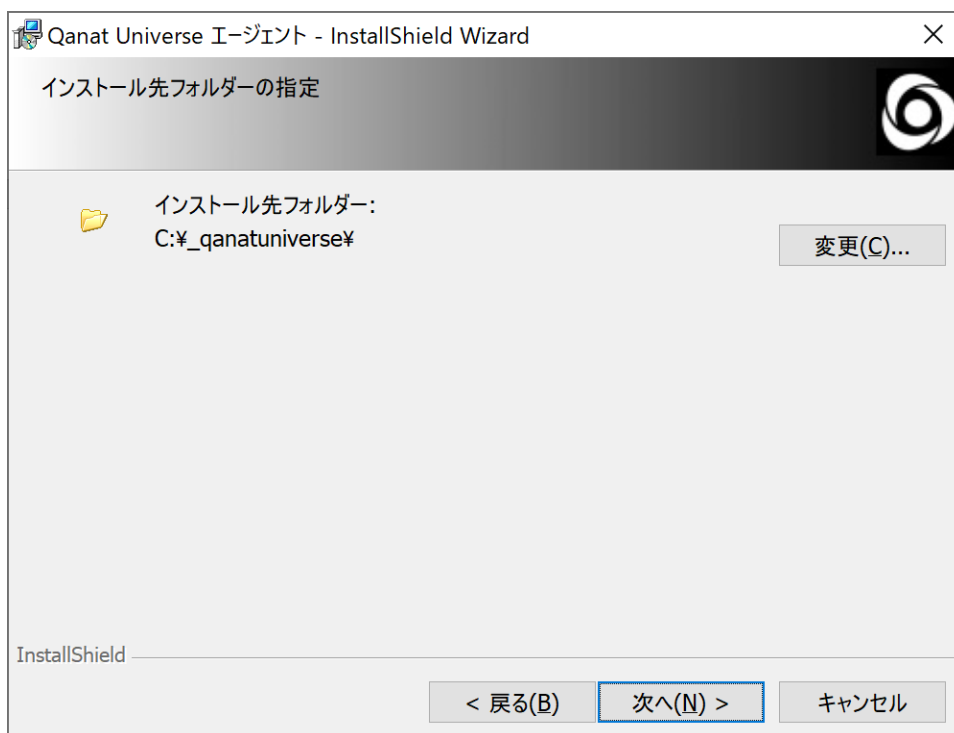
Microsoft .NET Framework バージョン 4.7.2「以降」

をダウンロードしインストールを行ったのち、再度本手順を実行してください。

3. インストール実行の確認画面がでるので「次へ(N) >」を押してください。



4. インストール先を選択します。変更したい場合は「変更(C)...」を押しインストール先のフォルダーを選択し「OK」を押してください。



5. インターネットへ接続するためのプロキシサーバーの設定をします。



初期値として、システムで利用されている設定の情報を表示しますので問題がなければ「次へ (N) >」を押してください。

もし利用したいサーバー設定と異なる場合は編集し、「次へ (N) >」を押してください。

△画面上の入力内容は例です

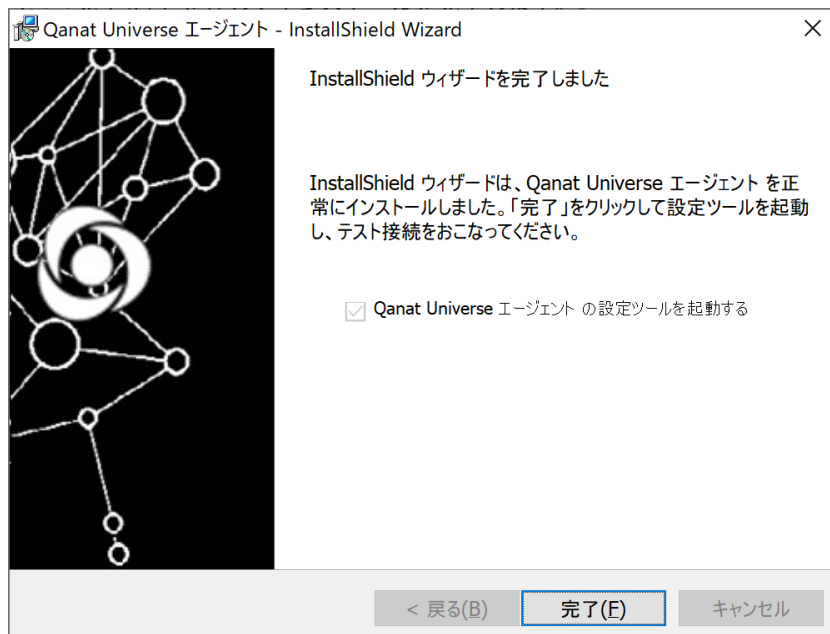
6. 設定した内容でインストールを実施します。



「インストール (I)」を押してインストールを開始してください。

設定の変更・確認を行いたい場合は「< 戻る (B)」を押して実施してください。

7. 「完了(F)」を押してインストールを完了します。



完了すると設定確認のツールが開くので、次の「第3章 設定」へ進み設定の確認をしてください。

△この時点では、まだエージェントは完全に起動していません。

「第3章 3.1 エージェントの起動設定の確認」の内容に従って、正しく設定が完了するとエージェントが起動します。

第3章 設定

3.1 エージェントの起動設定の確認

インストールが完了すると Qanat Universe エージェントの設定画面が表示されるので、期待する内容が設定されているか確認し、「テスト接続」を実行して接続がおこなえることを確認します。

もしテスト接続がうまくいかない場合は、設定の必要があれば内容を修正の上、再度「テスト接続」をおこなって接続を確認し、「適用」ボタンをクリックします。

Qanat Universe

Qanat Universe エージェント の設定

サービスへの接続設定 (gate)

エージェントID (agentId):

エージェントキー (agentKey):

プロキシホスト名 (proxyHost):

プロキシポート番号 (proxyPort):

連携対象とするローカルファイルの設定

ファイルの配置場所:

本画面、および管理ツールの詳しい操作方法はユーザーズ・マニュアルを参照してください。

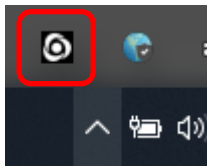
3.2 管理ツールの起動確認

Qanat Universe エージェントの設定は管理ツールと呼ばれるプログラムでおこないます。管理ツールは Qanat Universe エージェントの導入後、常に起動し、タスクトレイに常駐します。

インストールが完了すると、管理ツールが自動的に起動します。
タスクバー部分に以下のアイコンがあることを確認してください。



△タスクバー部分にない場合には、上記画像の ^ を押し、アイコンがあることを確認してください。




管理ツールでは以下の設定および操作がおこなえます。

- ・ エージェントの起動/停止
- ・ エージェントの動作状況の確認
- ・ エージェントの動作設定
- ・ エージェントの更新および更新に関わる設定
- ・ エージェントのバージョン情報の確認

管理ツールの詳しい操作方法はユーザーズ・マニュアルを参照してください。

3.3 エージェントの動作状況の確認

タスクトレイのを右クリックし、表示されるポップアップメニューの「起動」「停止」の状況から、エージェントが動作中であることを確認してください。



「起動」が無効化され「停止」が有効化されている場合、エージェントは動作中です
「起動」が有効化され「停止」が無効化されている場合、エージェントは停止中です。



起動処理中、停止処理中の場合は、いずれのメニューも無効化され、選択することができません、

管理ツールの詳しい操作方法はユーザーズ・マニュアルを参照してください。

第 4 章 付録

4.1 接続に失敗する場合

ツールを開いてテスト接続を実施してください。

何らかの理由により接続に失敗した場合には、接続ができなかった旨とその原因が表示されます。

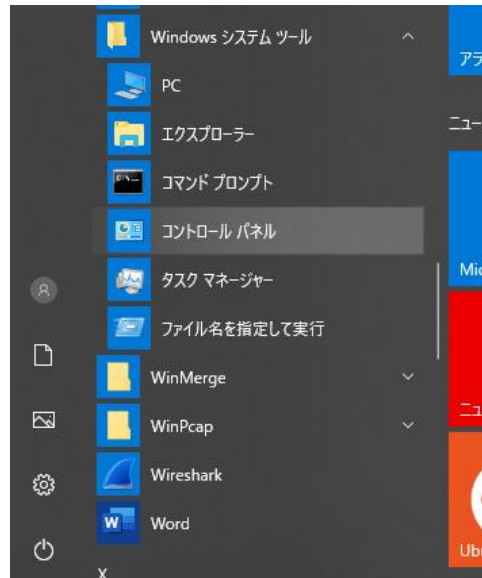
表示された原因に従い、設定を変更してテスト接続を実施してください。



4.2 アンインストールの方法

以下の手順により、アンインストールを行います。

1. Windows のスタートメニューから「Windows システムツール」を開き、「コントロールパネル」を選択します。



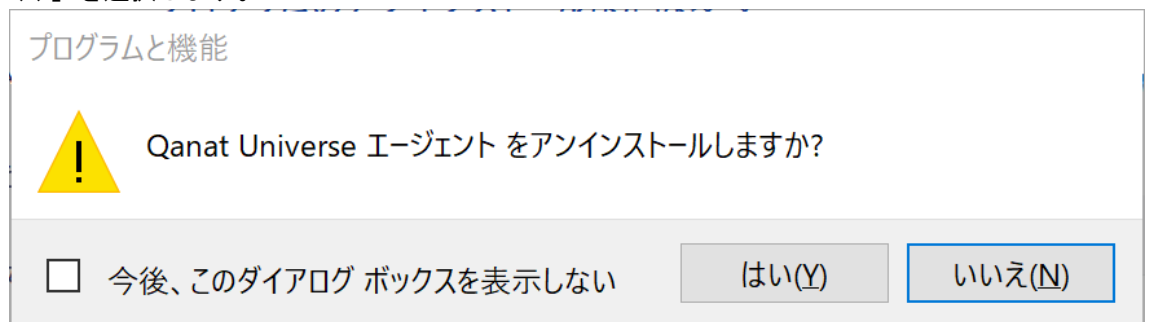
2. 画面左上の「表示方法」を「カテゴリ」に設定し、画面左下に表示される「プログラムのアンインストール」を選択します。



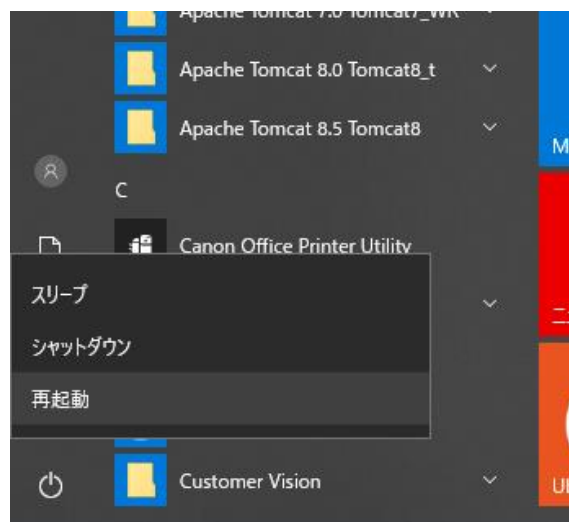
3. 表示される一覧から「QanatUniverse エージェント」を探し右クリックします。
メニューが表示されるので、「アンインストール(U)」を選択します。



4. 「QanatUniverse エージェント」をアンインストールするか確認されるので、「はい(Y)」を選択します。



5. アンインストールが開始され、しばらく待つと再起動が必要である旨のメッセージが表示されるので「OK」を押します。
6. 画面を閉じ、マシンの再起動を実施してください。
他の作業を実施されている場合はすべて完了したうえで再起動を実施してください。



以上でアンインストール作業は完了です。

QanatUniverse エージェント 導入の手引き

2024 年 5 月 28 日 第 1 版発行